

はち まる にい まる
8020



第30号

発行：静岡県8020推進住民会議
事務局 静岡県歯科医師会
〒422-8006 静岡市駿河区曲金3-3-10
TEL (054) 283-2591
編集：8020運動推進部

推進員だより

「のど元過ぎれば 熱さ忘れる？」

静岡県8020推進住民会議委員
特定非営利活動法人静岡県介護支援専門員協会副会長

栗倉敏貴



8020推進員のみなさまによる日頃のご活動に、心から敬意を表します。

この冊子をお読みになっている歯科保健について意識の高い方々や、そのご家族の方々は、おそらく少なくとも三か月に一回、歯科診療所でご自分の歯の定期的な健診や管理指導（歯科衛生実地指導、歯周疾患指導など）を受けておられることでしょう。

私は正直なところ、ケアマネジャーの職能団体を代表して歯科保健の一端に携わるまでは、口腔衛生への自覚がなかったのです。

「のど元過ぎれば、熱さ忘れる」とはよく言ったもので、痛かったり綻びたりした歯の治療が終わってしまふと、もう歯医者さんには用はないとばかりに、健診をサボっていました。

かかりつけの歯科の先生からせつかくハガキで健診のご案内をいただいても、歯磨きの回数をこなしていれば良いのではと放置してしまい、歯科衛生士さんによる磨き方の指導も受けずに一年、二年と時ばかり経過してしまつたため、気が付かないうちに歯周病が進み、内科疾患なども誘発しやすい状態に陥ってしまいました。

おかげさまで、40代も終盤に差し掛かる頃から、仕事上の意識付けが自覚を強

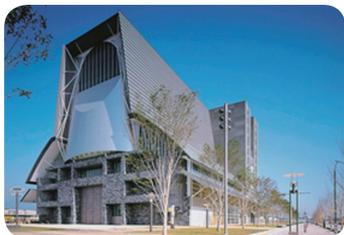
める契機になり、いまは1〜2か月に一回は健診・管理指導を受けていますので、歯周病がかなり軽くなり、かかりつけの先生も「がんばっていますね。その調子で」と評価してくださっています。

仕事や地域の中で、一人でも多くの住民の方々に、少しずつでも8020推進に関係する役割を担ってもらうことが、もつとも効果的な啓発だと言えるのではないのでしょうか。

予告

「平成28年度 8020推進・静岡県大会」開催

テーマ 「口はいのちの入口 ころの出口」
～たのしく食べて ふせごうオーラル・フレイル～

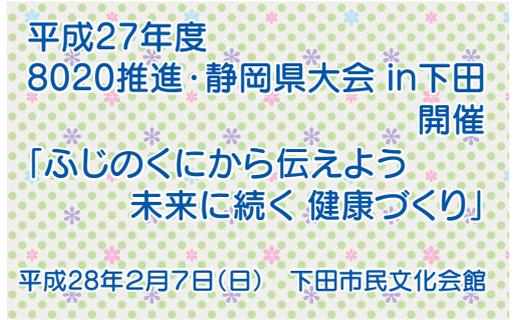


日時：平成28年11月27日(日)
13：00～16：00
会場：グランシップ

「交流ホール」
(静岡市駿河区池田79-4)

〈大会概要〉

- ・表彰
8020県民表彰(県知事賞) / 8020推進財団理事長賞 / 8020童話賞 / 8020図画ポスター
- ・講演：木苗直秀(静岡県教育委員会教育長・県立大学名誉教授)
- ・シンポジウム：テーマ「静岡県の食と健康増進」(仮)



「大会を終えて」

8020推進住民会議会長
白井嘉尚



本大会は、「開国のまちから 広がる 8020」をサブテーマに掲げ開催されました。会場は下田市民文化会館です。その近くの宝福寺には、開国の嵐に巻き込まれるように命を絶った、

唐人お吉が眠っています。館内には賀茂地区の8020 0 図画ポスターの展示会場も設けられ、幼保の児童から高校生まで、約220点の明るく元気な作品が大会に花をそえていました。

豊かな自然に恵まれながらも、人口減や高齢化の波に洗われ、また鉄道や高速道路など東西交通の大動脈から外れた地での県大会は、参加者数の予想や移動の便など、難しさがあったことでしょう。しかし天城路を越えての開催は、それ自体を労を惜しまず8020の意義を共有しようとのメッセージに他なりません。ただ、13時の開幕直後は会場に空席が目立ち、一抹の不安が現実になったかのような気持ちになりました。しかしその後、徐々に来場者が増え、結果としておよそ380名の方々にご参加いただいたことは何よりも嬉しいことでした。

それは、上にあげた図画

ポスターの展示、健康や医療方面に関心を持つ高校生のボランティア参加、同じく高校生による8020推進活動報告、小学校教諭による学校と学校歯科医との連携報告。劇団カキヌマによる健康をテーマにした人形劇、休憩時間を利用した8020絵本の朗読など、若者や子育て世代に目を向けて、分かりやすく親しみやすい大会を目指した関係各位のご尽力のたまものといえます。

分かりやすく親しみやす



いという意味では、元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクターの北折一氏による講演、「ガッテン流！ 楽しんで健康長寿 ～ワツハツ歯～」は、健康長寿社会に向けたストライクゾー

「ステージの上から」

賀茂歯科医師会会長

森田 広

歯科医師でもある地元下田市長は今回の行事を開催するに当たり、医療過疎が進むだろうこの地域に、この行事が若者が将来の医療の担い手になろうとする一つのきっかけになればと話しておられた。今回、「8020歯と口の健康に関する図画ポスター展」が開催されたのは、若い世代にも医療を知る機会をという下田市長のその意の反映だった。賀茂地区の幼稚園、中学校、高校から募集したところ、220点を超える応

んど真ん中の企画でした。メタボ予備軍に認定されていた私も、その日から「ガッテン流」「測るだけダイエット」を試み、今、その効果が徐々に表れているところです。



募があり、それぞれの部門で年齢なりの素晴らしい作品に驚かされた。審査では年少者のある一点が目を引き、最優秀賞としてだれもがこれを指差した。示唆されたイメージに違いないが、手の赴くまま即興的に描か



れた作品、伸びやかな屈託のない画面からあふれんばかりの明るい絵に、だれもが感嘆の声を上げ、私も採られた野菜のみずみずしさを思った。私はそっと裏に書かれた名前を確認して驚いた。私のところの患者だったのである。患者だから驚いたのではなく、その子の家庭環境を知っていたからである。

このあかねちゃんは姉弟の3人きょうだいの真ん中、お父さんのチョウさんが60歳を過ぎたときに20歳そこそこの外国人女性と結婚し

た。お母さんはあまり日本語が得意ではなく、治療にはほとんどチョウさんが連れてくる。待合室では大騒ぎである。きょうだいたちはところかまわず走り回り、静かにしると何度もチョウさんが大声を上げる。きょうだいはどの子も一様にむし歯が多い。しかも治療が済んで数カ月すると、もう新たなむし歯をつくって来院する。どうも家庭環境、食生活に問題があるのではないかとチョウさんに話をするが、おれは家族を養うために遅くまで働いている、菓子は子供たちが大好きでこれをかじりながらおれの帰りを待っている。むし歯は先生が治してくれと、取り付く島がない。たまに来るお母さんに話をしようとしても、どうもピンとこないように、この子たちにどうしてあげたらいいのやうなため息が出る。そして口の中の健康に大きな課題と問題を抱えるこの子が、歯と口の

健康を謳歌する図画で最優秀賞に選ばれたのである。皮肉と大きな矛盾に戸惑ったが、一方で生命としての健康への渴望のなにごとかを感ぜさせられるのである。当日始まる前に声をかけようと待っていたがすれ違い、関係者がステージに上がる人の中でようやく見つけた。チョウさんは、普段締められないネクタイで付き添い、あかねちゃんは耳にピアス、小さな花の髪飾り、エキゾチックな顔にうすく化粧してもらいかわいいワンピース、見違えるようになった。ちよつと声をかけたが、気がついたかどうかそのままそれぞれ指定された席について姿を見失った。今日ばかりは神妙な顔つきで自分の肩幅より大きい賞状を受け取っていた。私の席からは頭のとつぺんの部分しか見えなかったが、その小さな髪飾りにあかねちゃんの健康を祈るばかりであった。

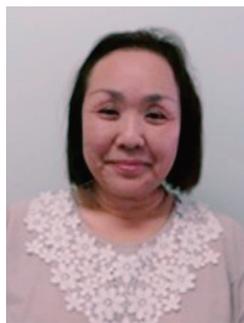


人形劇「カキヌマ」

「元気をもらった大会！」

下田市8020推進員

河井 恵美子



「誘ってもらって良かったよ。歯って大事なんだね。いい話が聞けたし、お土産までもらっちゃって。」

後日、何人かの知り合い

が笑顔で声をかけて下さり、大会に携わった一人として、とてもうれしくなりました。平成28年2月7日、8020推進静岡県大会が下田市で開催されました。伊豆半島の先端にどれくらいの方々が集まって下さるのか、ドキドキしながら当日を迎えたのですが、多くの推進員の皆様にご参加いただき、感謝しております。

大会では県知事賞の松永様をはじめ、受賞された方々の若々しさには驚くばかりでした。活動発表もバラエティに富み、興味深く聞かせていただきました。また、元NHK「ためしてガッテン」専任ディレクターの北折一氏の講演は、さすがはガッテン流。「つつい」歯の健康を意識してしまいたくなる内容で、まだまだ聞いていたいお話でした。

また大会前、午前中に行われた8020推進員交流

〈次頁へつづく〉

〈前頁のつづき〉

会では、皆様の活動に多くの刺激を受けました。何よりも楽しみながら活動するみなさまのお話に感心しきりでした。私たちも刺激され、「あんなこともやってみようか、こんなことも出来たらいいよね。」と推進員同志で盛り上がりました。これから我が下田の推進員も一年で一番忙しい時期です。自分の歯で噛み続けることができるよう、8020達成のために保育所、幼稚園で寸劇を行います。今年の私の役はむし菌菌！子どもたちのキラキラした笑顔に出会い、元気をもらえる活動を仲間たちとともに楽しみにしています。

推進員のみなさま、次回の大会でお会いできることを心待ちにしております。



「8020推進・静岡県大会 in 下田」表彰者の皆様



祝
8020表彰式

8020推進・静岡県大会 in 下田
平成28年2月7日（下田市民文化会館）
静岡県8020推進住民会議

8020県民表彰（10名）

【県知事賞】松永安次（静岡市葵区）

新井幹雄（下田市）、幾田サ、エ（伊東市）、伊東恭一（熱海市）
持田イツ（御殿場市）、岡村治子（富士市）、狩野喜美江（焼津市）、
大場豊彦（藤枝市）、青葉 猛（磐田市）、坪井万吉（浜松市天竜区）

8020推進財団理事長賞（10名）

三津間美也（伊東市）、梅津栄作（三島市）、石渡理子（駿東郡小山町）、
綿貫智子（富士市）、増田 茂（藤枝市）、佐野勇治（鳥田市）
松永正子（牧之原市）、村松久枝（袋井市）、倉田幸子（浜松市中区）、
藤原幹夫（湖西市）

8020童話賞（6名）

〈児童・生徒の部〉

童話大賞：大杉明日香（静岡県西遠女子学園中学校2年生）

童話賞：奥村実矢（浜松市立萩丘小学校6年生）

久保田 安（富士市立吉原第一中学校2年生）

〈一般の部〉

童話大賞：田口今日子（静岡市）

童話賞：鈴木 泉（静岡市）、澤根孝司（袋井市）

8020歯・口の健康に関する図画ポスターコンクール（3名）

静岡県8020推進住民会議会長賞：金指 瞳（東伊豆町立熱川幼稚園6歳）

静岡県歯科医師会会長賞：太田日向子（静岡県立下田高校2年生）

賀茂歯科医師会会長賞：大隅優太郎（下田市立稲生沢中学校2年生）

